

村田発條株式会社（栃木県宇都宮市）

代表取締役社長：高橋 純夫 さん

生産性向上と人材育成が要

世界屈指のばねメーカーの同社では、2007年に公益財団法人21世紀職業財団の「職場風土改革促進事業」実施事業主認定をきっかけに、就業規則や36協定の見直しに取り組んでいる。

毎月、全社員の所定外労働時間の点検と情報交換を徹底し、部門長と総務部で改善策の検討を行う。新規設備の機種統一による技能習得のスピードアップ化では、これまで3年ほど期間を要したものが現在では1～2年に短縮。さらに各工程全てに対応できる技能者の育成、他部門からの応援体制構築などにより生産



高橋 さん



性が向上し、社員のモチベーションアップへもつながった。

取組前は年間平均3日程度だった有給休暇取得も9日程度に増加した。今後は高齢者や女性技術者の育成、工程のオートメーション化やロボット導入、国際化に伴う外国人技能者の採用、加えて待遇の見直しについても積極的に検討していく。